

必要な情報を短時間で抜き取れ!!

令和 5 年度英語の問題構成と配点は、**①～④**のリスニングテスト（33 点）、**⑤**文法問題（15 点）、**⑥**英作文（8 点）、**⑦～⑨**長文読解、図表問題、対話文読解（44 点）でした。昨年度から大きな変更点はなく、ほとんど同じ形式で出題されました。

リスニングに関しては例年と同じ形式で放送が 2 回流れます。選択肢には事前に目を通しておき、疑問詞に注意しながら聞くことが重要です。文法は語形変化や整序問題、英作文など様々な問題が出題されています。基本的な文法知識が重要となる他、新学習指導要領からの出題もあり基礎固めを幅広く行うことが大切です。

読解では、文章量や図表の情報量が増えており問題を解くのに必要な情報を短時間で読み解くことが求められています。また、昨年同様長文の中で使用されている単語のレベルは新学習指導要領の影響もあり上がっているため、単語や熟語の学習は一層力を入れて取り組む必要があります。

～大問 1 リスニング～

「英語の対話を聞いて、最後の文に対する受け答えを選ぶ」という例年通りの形式で、問題数も昨年と変わらず 3 問出題されました。(No.1)では Have を聞き取ることができれば問題なく解答できます。(No.2)も don't forget に注意できれば正答は難しくないでしょう。(No.3)は数字の規則性に関する問題でした。他の問題と比べると複雑ですが、数字と問われている内容に耳を傾けられれば答えにたどり着くことができます。

放送が 2 回流れるので 1 回目の時点で状況と問われている内容を適切に聞き取れば、2 回目の放送でより確実に答えを出すことができます。

～大問 2 リスニング～

例年と変わらず「英語の対話又は文章を聞き、それぞれの内容についての質問に適するイラストを答える」という形式で 2 問出題されました。(No.1)は天気を問われる問題でした。曜日と天気に関する言葉が聞き取れていれば問題なく答えることができます。(No.2)はグラフを見て答える問題でした。問われている内容を理解した上で注意深く放送を聞くことが重要です。

大問 2 は大問 1 と同様に、何が問われているのか 1 回目の放送で理解し、2 回目の放送で問われている内容に注意して放送を聞くことが重要でした。

～大問 3 リスニング～

例年と同じ「英語の対話又は文章を聞き、内容についての質問が流れた後、その答えとして適切なものを選択する」という形式で 2 問出題されました。(No.1)は会話の状況から答えを出す必要があり、やや難しめの問題でした。(No.2)は内容を理解し、自分で答えを考える必要があります。

大問 3 は 2 問とも内容を理解した上で状況や答えを推測する必要があり、難易度もやや高く差が付く問題であったといえるでしょう。

～大問 4 リスニング～

大問 4 は「英語の文章を聞き、内容をまとめた文やメモの空所に当てはまる英単語を答える」という昨年と同様の形式で、4 問が出題されました。今年度は things、enjoy、agree、favorite の 4 つが出題されました。いずれも難しい単語ではありませんが、4 問とも放送内容に含まれない単語であり、聞き取った内容と空欄から単語を類推する必要がありました。4 問中 3 問が放送内容に含まれていた単語を答えればよかった昨年と比べて今年度は難化しており、答えの推測のためあらかじめ問題文に目を通しておくことが重要でした。

～大問 5 文法問題～

昨年度と同様「語形変化 2 問」「語順整序 3 問」で出題されました。(1) では品詞を変える問題でした。(2) は仮定法の問題であり、新学習指導要領の内容も正しく理解している必要がありました。(3) ～ (5) は並び替えの問題であり、(3) は be good at ～ という熟語、(4) では ing 形を用いた修飾、(5) は動詞+目的語+目的語となる文章について問われました。文法と熟語の理解を深めるだけでなく、新学習指導要領の内容にも目を向けた幅広い対策が重要です。

～大問 6 英作文～

「イラストを見て、吹き出しに入る英文を 10 語程度で答える」という設問が 2 問出題されました。25 字程度の英作文を 1 題出題された昨年度と比べて、文字数は減少し設問数が増えた形となります。4 コマという構成かつ昨年度よりも作文の文字数が減っているため、内容の推測は難しくないでしょう。(1) は夕食を食べに行く提案をする内容を、(2) は鍵をなくしたことを伝える内容をそれぞれ推測して英語で書く必要があります。どんな状況の問題であっても解答ができるように、単語や熟語、文法を覚えて使えるようにしておくといよいでしょう。

～大問 7 長文読解、図表問題～

昨年度と同様に長文読解が 1 題と図表問題が 1 題という構成でした。長文読解ではレストランで提供する食事についてのプレゼンテーションが題材となっており、本文だけでなく複数の資料からも内容を読み解き解答する必要があります。中でも①や③は内容をしっかりと理解した上で適切な語彙を選択する必要がありました。図表問題は年々資料の情報量が増加しています。特に②は複数の情報を整理して考える必要があり、英語だけでなく資料を読み解く力も重要でした。

～大問 8 長文読解～

長文読解では辞書がテーマの文章が出題されました。(1) は題名を答える問題、(2) は適切な箇所に文を挿入する問題、(3) は英問英答、(4) は内容一致問題が出題されました。問題の難易度自体は標準程度でしたが、語彙や文章量、馴染みのあまりないテーマということもあり内容理解は容易ではなかったでしょう。新学習指導要領の影響もあり単語のレベルが上昇しているため、素早い内容理解には長文の慣れだけでなく語彙の理解度も重要となります。

～大問9 対話文読解～

昨年度と同じく（１）から（３）までは「対話文への適文補充」が出題され、（４）では対話文の内容に合う英文を書く問題が出題されました。一昨年から始まった（４）で英作文が出題される傾向は今年も変わらず、今後も英作文の出題に備えておくことが必要となります。昨年度よりやや文章量は増加していますが、適文補充は空欄前後の流れを把握できれば解くことができたでしょう。英作文は自由度が高く、本文の流れをくみ取った上で自信のある文法や語彙で勝負したいです。



以上のように、リスニングと読解、そして英作文の攻略が高得点のカギを握っています。基礎となる英単語や熟語、文法力が欠かせないため、中学３年間の基礎レベルでの演習を着実に行うことが大切です。基礎レベルでの知識が身についてから、読解問題等応用的なレベルでの演習に取り組むことが重要となります。

正学館の英語対策は、過去の入試問題から出題率が高い順番に載せられている英単語・英熟語帳を使い、スペル、発音、意味、不規則動詞を繰り返しテストします。さらに、春期・夏期講習では、各単元の総復習を行い、基礎を固めた段階で読解問題にも挑戦します。また、冬期講習では、実際の過去問や、過去問と同じ傾向の問題を解き進めていき、実践レベルでの演習に取り組みます。

